

**富山県薬業連合会に「配置薬振興委員会」設置の動きから**

発行：日本置き薬協会 事務局

9月4日開催の富山県薬業連合会長理事会席上にて、中井敏郎会長（東亜薬品(株)社長）は「配置薬業を立て直す最後のチャンス。改革ではなく、生まれ変わらせる、との強い気持ちで積極的に意見交換を行い、配置薬業の再生に向けて様々な面から提言して欲しい」と要請し、これを受けて「配置薬振興委員会」が9月末に設置された。

委員長には内外薬品(株)笹山社長が就き、配置薬メーカー21社が委員を構成し、来年3月までの4回の会合を開催して対応策をまとめる予定。

本委員会の目的を「配置薬製造業に係る県内製薬企業を取り巻く環境や課題について、情報収集及び調査研究を行い、今後の方向性を協議するとともに、生産性の向上、配置薬の活性化を図り、製造企業の健全な発展と配置薬業の振興に寄与する」とし、配置薬業及び配置振興に係る情報収集と情報交換、配置販売システムに係る調査研究、配置薬製造の生産性の向上に係る調査研究、などを行うとしている。

因みに、2012年配置用医薬品生産額は246億8400万円、2003年と比較すると228億7700万円の減少で48%減少している。こうした中で、一社だけの合理化では、もう済まされない状況となっており、県内の配置関係メーカーの協調をもって対処しなければならない局面を迎えたとも言えるだろう。

配置販売業者としては、メーカーのこうした動向を見ながら、配置業務の顧客満足への深化や洗練化、或いは他業種、業態との連携の動きがある。つまり、小売業からサービス業的な展開である。また、地域の得意先を定期的に訪問して対面販売しながらお客様の健康や治療状況を把握できる立場から、「地域包括ケア」の一員として活躍出来るよう、関係団体との連携を進める業者もある。

一般用医薬品販売にネット通販が参入した以上、そのコモディティは一層加速するだろう。対面販売の店舗、配置ともども、低価格化の呪縛から逃れる個性的、魅力的な付加価値の提案、提供に進まざる得ない状況となっている。

委員会参加企業 池田薬品工業株、北日本製薬(株)、キョクトウ(株)、(株)広貫堂、(株)広昌堂、(株)島伊兵衛薬品、ジャパンメデイック(株)、新新薬品(株)、第一薬品工業(株)、大協薬品工業株、ダイト(株)、中央薬品(株)、テイカ製薬(株)、東亜薬品(株)、内外薬品(株)、(株)日参製薬、富士薬品(株)、明治製薬(株)、(有)薬師製薬、養命製薬(株)、リードケミカル(株) 以上21社

---

本件に関するお問合せ先 **日本置き薬協会 事務局**

---

〒114-0023 東京都北区滝野川3-56-9

TEL. 03-5974-6227 FAX. 03-5974-6224

---

日 置 協

---